



「70」の人文字を作り、70周年を祝して大空に風船を放つ生徒たち。この人文字も記念動画に収められています

葛巻中が創立70年迎え 感謝と決意の動画制作

葛巻中（三浦裕明校長、生徒69人）では創立70年を迎え、より多くの地域の方々へ感謝の気持ちと、新たな時代の創造への決意を伝えようと記念動画を制作。11月30日から、くずまきテレビで放送が始まりました。

動画は、生徒が一人ずつ登場し、それぞれ将来の夢や感謝の気持ちを紹介するとともに、学校の歩みをスライドショー方式で振り返る内容。くずまきテレビが撮影と編集を担当し、8分間の番組となっています。

10月31日には創立70周年を祝い、全生徒と教職員が動画に使う「70」の人文字撮影に取り組み、「ありがとう」と声高らかに呼びかけ、風船を大空に放ちました。



交通安全関係者が見守る中、岩手警察署の菅野署長から賞賛状を受け取る鈴木町長

死亡事故ゼロ1年達成 県警本部長から賞賛状

10月26日までの1年間、町は交通死亡事故ゼロを達成し、県警本部長から賞賛状を受けました。11月11日、伝達式が町長室で行われ、町交通安全協会の緑川猛雄会長ら関係者が見守る中、岩手警察署の菅野一也署長が「安全な交通環境が確保され、記録がさらに伸長されますよう祈念します」と述べ、鈴木重男町長に賞賛状を手渡しました。

鈴木町長は「交通指導隊をはじめ多くの関係者の取り組みに感謝し、今後も町民一丸となって交通安全に取り組みます」と関係者と共に記録の更新を誓い合いました。

町の交通死亡事故ゼロの最長記録は4年間で、平成15年に賞賛状を受けています。

江刈中が開校70年式典 一層の躍進を誓い合う

江刈中（中田隆一校長、生徒30人）の統合40周年・開校70年記念式典が11月19日、同校体育館で行われ、在校生や保護者、教職員など関係者約100人が出席し、節目を祝うとともに、一層の躍進を誓い合いました。

中田校長が「生徒数は統合時の10分の1に減少したが、力を合わせてさまざまな成果を上げている。情報化やグローバル化など、一丸となって今の社会を生き抜く力を育んでいきたい」と式辞を述べ、辰柳唯斗君（3年）が「新しい歴史のスタートにしよう」と力強く決意表明しました。

このほか、歴代の校長とPTA会長への感謝状贈呈、スライド上映、全校生徒による合唱披露などが行われました。



一層の躍進に向け、歌声を響かせた全校合唱

「葛巻が好き」を仕事に 高校生ら起業家と討論

10月30日、くずまき型観光産業若者雇用創出事業として、起業家による講演会などが総合センターで行われ、地元企業の職員など関係者約30人が参加しました。

旅行会社「たびすけ」の西谷雷佐代表（青森県弘前市）と、「アトラク東北株式会社」の後藤光正代表取締役（宮城県仙台市）が講師を務め、これまでに手掛けた事業や自らの考え方などを紹介しました。

講演会の後、起業家と葛巻生らによるパネル討論が行われ、地域で起業する意義などをテーマに意見を交わしました。参加した高校生らは、「葛巻の魅力が詰まった、若者が集まるような場所を作りたい」と力を込めました。



起業家の西谷雷佐さん④、後藤光正さんと葛巻生らによるパネル討論の様子



会場が笑いの渦に包まれた出演者全員による大喜利

落語や大喜利に大笑い 3自治会が連携の寄席

ジョーカーズ 城下子寄席が11月11日、総合センターで開催され、地域住民ら約140人が来場しました。

真打の桂小文治さんをはじめ昔昔亭桃之助さんや笑福亭羽光さんら5人の落語のほか、マジックショー、出演者全員による大喜利が行われ、会場は大きな拍手と笑いの渦に包まれました。

この寄席は、城内小路、下町、田子の3自治会が連携して開催され、事業所からの協賛金や町の協働のまちづくり補助金を活用し、今年で9回目となります。下町町内会の八木寛一会長は「町と地域の皆さまのご支援に感謝します。今後も継続開催に向け努力します」と力を込めました。



遠藤組合長に合わせて拝礼し、来年の豊作を祈願する参加者ら

労苦ねぎらい豊作祈願 星野農家組合が収穫祭

星野農家組合（遠藤芳勝組合長、組合員85人）の収穫感謝祭が11月22日、星野生活改善センターで行われました。

組合員や老人クラブの会員など約30人が参加。遠藤組合長は「今年は天候不順で、大型の台風も襲来するなど苦労が多い年であった。来年はいい年になるようお祈りしながら、今年の労苦をねぎらっていただきたい」とあいさつ。神事も行われ、参加者は遠藤組合長に合わせて拝礼し、今年の収穫に感謝するとともに、来年の豊作を願いました。

この日は、同組合が地区内の遊休農地7アールで収穫したそばのかけなどが振る舞われたほか、ゲームなどで交流を深め、収穫の喜びを分かち合いました。